

こんにちは



横浜体育館にて：合い言葉は“Vigor”

チアリーディング部

顧問 小金智子

足。その後、99年春から部に昇格しました。

「高校野球放送でよく見るあれか？あれが部活動」と、

思われる先輩方も多いことと存じます。我がチアリーディング部は、応援団の廃止と前後して同好会として発

現在部員27名。おなじみの

夏の高校野球の応援だけでなく、年1回横浜で開催されるUSA協会という所属団体の大会で上位に入ることを目標に、卒業生の指導を受けて、週3回の練習に励んでいます。また、1月3日に東京ドームで行われたライスボールのハーフタイムショーにも有志参加し、貴重な経験を積むことができました。

校内に専門の指導をしてやれる者がいないのがかわいそうなのですが、時々東京で開かれる外部の講習会に自由参加するなどして演技の質と幅を広げるよう心掛けています。また後発のため、体

育館が使えないのも悩みの種で（現在は中庭と教室で練習しています）、難度が高く高さを必要とするスタンツという演技の練習をする時には、校外の施設や幼稚園をお借りしています。今後地道な練習

を重ね実績を積むことで、先発の部活と同じように部室や練習場の確保に向けて、積極的に発言できるようになればよいのだけれど…と、部員ともども願っています。

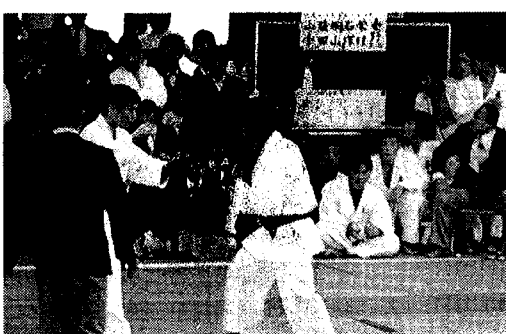
柔道部

伝統の力を支えに 顧問 塩田 博

同窓会、特に柔道部同窓生の皆様には、初稽古や合宿時に多大なるご指導・ご支援をいただき大変感謝致しております。

さて、柔道部の現況はと申しますと、他校では部員不足に悩んでいるのにかかわらず本校では男女合せて30名を維持していますが、中学での柔道経験者が皆無に等しい現状であります。しかしながら、これが秦高の伝統の力でしょうか。部員の練習に対するひ

た向きさ、根気強さ、研究熱心さは、正に健在ですが進学校ということで、予備校・塾等で練習時間が十分に取れな



関東大会県予選 対久里浜高校

い事が近年の傾向です。ともあれ、公式戦では毎年1〜2大会に必ずベスト16（昨年の新人大会は武相高校に2対3と惜敗してのベスト16）を維持しておりますが私学の生き残りを掛けた部の強化を進めている中、我々にとつてベスト8のハードルはとてつもなく高い現実です。翻るがえって思えば、一九六九年からの11年間で6度の関東大会出場を果たした、先人の輝かしい足跡を励みとして、練習内容に創意工夫をしていきたいと考えています。

柔道部同窓生の皆様には何かと、ご多忙とは存じますが、厳しいご指導を仰ぎたいと願います。

